

萩原良昭

今頃あの子は寝ているなあ

真っ暗な部屋で一人になると、毎晩の様に、少なからず、多からず、昔の事を回想する様になつた。

この男子校での三年間、考えて見れば、クラスには男子ばかりで、それと比べれば、小学校は共学で、今より僕はずっと女性に対して自然に振る舞えた。

それにあの頃は女性を女性と見ていなかつたからもある。

今は、自分が少しずつ大人になつて行くのを感じ、まわりの女性の存在にも、強い関心を持ち、僕の見る目が変わつて来たのは確かだ。

そう思うと、僕が感じる事を恥じらいに感じ、それをまわりの人気がづくのを僕は恐れている。

僕は、すなおに自分の感じるままに行動できなくなつた。

特に、あの子の前に出ると、僕はいつもの自分ではない。そんな自分がいやになるが、どうする事もできないで、自分の部屋で悩んでいる。